

目次

第28回研究発表大会のお知らせ	1p	第8回ポスターセッション賞	7p
大会会場案内	2p	機器展示	7p
大会日程表	4p	受賞報告	8p
企画セッション	5p	GIS資格認定協会からのお知らせ	8p
ハンズオンセッション	6p	学会後援行事等のお知らせ	8p
ポスターセッション	7p	学会からのお知らせ(代議員公募)	9p
第15回大会優秀発表賞	7p	学会からのお知らせ	9p

第28回研究発表大会のお知らせ

大会実行委員会 委員長 井上 亮

第28回地理情報システム学会研究発表大会を、2019年10月19日(土)・20日(日)に、徳島大学 常三島キャンパスにて開催いたします。本年度も通常の研究発表(講演、ポスター)に加え、企画セッション・ハンズオンセッションなど多彩な催しを予定しております。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

本誌には、プログラムの概要を掲載いたします。詳細は、学会ホームページをご覧ください。なお、プログラムは学会当日まで随時更新の可能性がありますので、必ず最新の情報をご確認ください。

なお、平成27年度より、講演発表・ポスター発表の発表者(第一著者)には、測量CPD学習プログラムのポイントが付与されます。大会で発表した場合、(1)「GIS上級技術者」への申請や、(2)「測量系CPD学習プログラム」への登録が可能です。希望者は大会当日、受付までお申し出下さい。

2019年10月19日(土)・20日(日)

場所：徳島大学 常三島キャンパス 教養教育4号館

- 受付開始時間は、両日ともに午前8時30分です。(事前登録を済ませた方は、受付は必要ありません)
- 日曜日は、学食は営業しません。近隣のレストランのご利用、あるいは、お弁当のご用意をお願いします。
- 各口頭発表の持ち時間は発表15分、質疑5分です。時間厳守をお願いいたします。PCは発表者各自でお持ちください。貸出はありません。必要な方は、アダプターもご用意ください。また、講演者は、セッション開始前に会場にて機器動作確認をお済ませ下さい。
- ポスターセッションは2日間を通じて実施し、両日の昼

にコアタイムを設けております。大会いずれかの日に発表者はポスターの前で質疑応答にご対応下さい。また、不在時用に感想を寄せていただくメモや回収用袋等の設置もお勧めします。ポスターのサイズは、A0に収まる範囲でお願いします。

懇親会

会場：学食 Dining キララ

日時：2019年10月19日(土)

午後6時30分～午後8時30分

参加費

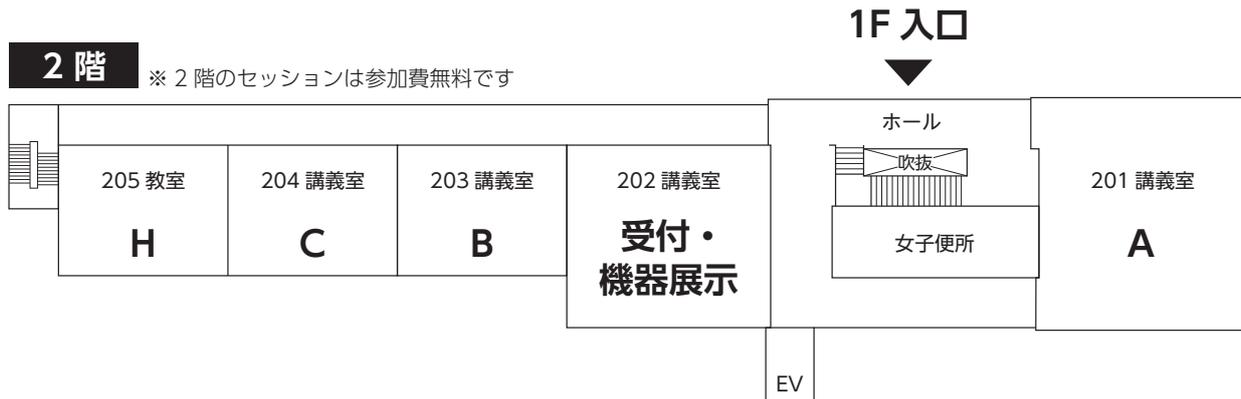
※企画セッション・ハンズオンセッションのみの参加は無料です

- 学術大会(講演論文集のCD-ROM代込み)
 - 正会員/賛助会員枠の参加者:
 - 事前登録 4,000円(当日受付 6,000円)
 - 学生会員:
 - 事前登録 3,000円(当日受付 4,000円)
 - 非会員(一般および大学生以上):
 - 事前登録 7,000円(当日受付 8,000円)
 - 高校生以下, 70歳以上:
 - 無料(必ず年齢を証明するものをご呈示下さい)
- 懇親会
 - 正会員/賛助会員枠の参加者:
 - 事前登録 5,000円(当日受付 6,000円)
 - 学生会員:
 - 事前登録 4,500円(当日受付 6,000円)
 - 非会員:
 - 事前登録 6,000円(当日受付 7,000円)

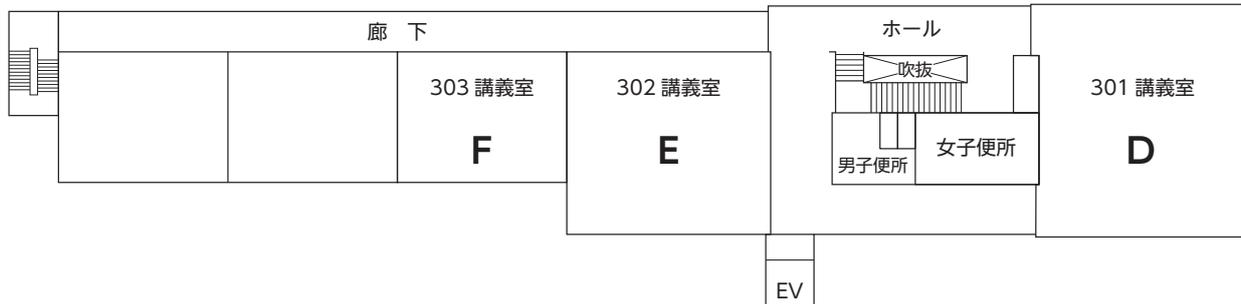
■ 教養教育4号館

2階

※ 2階のセッションは参加費無料です



3階



4階



第28回研究発表大会 大会日程表

参加費無料セッション		会場A 201	会場B 203	会場C 204	会場H (ハンズオン) 205	会場D 301	会場E 302	会場F 303	会場P (ポスター) 403・404
10月19日 (土)	9:00-10:00	会場A 201	会場B 203	会場C 204	会場H (ハンズオン) 205	会場D 301	会場E 302	会場F 303	会場P (ポスター) 403・404
	10:20-12:00	【企画セッション】 2019年度初等中等教育におけるGISを 活用した授業に係る優良事例表彰 企画: 貞広 幸雄	【企画セッション】 学生フリーテーマ発表会2019 (1) 企画: 相 尚寿	IAGI (1) IAGI (2)	【ハンズオン】 わかりやすい地図の作り方 企画: 桐村 喬	商業 災害	教育 移動1	自治体 居住1	ポスター展示
	12:00-12:40								ポスターセッション コアタイム
	12:40-13:20								
	13:20-14:20	【Keynote Speech】 Prof. Kim Chang-Hwan (KAGIS) Prof. Liou Yuei-An (TEGO) Prof. Oguchi Takashi (GISA)							
	14:30-16:10	【企画セッション】 第14回マイクロジョーデータ研究会「国 内外におけるマイクロジョーデータを活 用した自然災害への対応とその課題」 企画: 秋山 祐樹	【企画セッション】 クラウドソース型地理情報の可能性 と課題 企画: 西村 雄一郎	IAGI (3)	【ハンズオン】 QGISハンズオン 企画: 嘉山 陽一	避難1	交通	環境	ポスター展示
	16:30-18:10		【企画セッション】 役立つビジネスGIS 企画: 高阪 宏行	IAGI (4)		医療	道路網・物流	観光	
	18:30-20:30	懇親会@学食 Dining キララ							
10月20日 (日)	9:00-10:40	会場A 201	会場B 203	会場C 204	会場H (ハンズオン) 205	会場D 301	会場E 302	会場F 303	会場P (ポスター) 403・404
	10:40-11:40	【企画セッション】 パーソナルデータにつながる位置情報 の取り扱いについて 企画: 書木 和人	【企画セッション】 学生フリーテーマ発表会2019 (2) 企画: 相 尚寿		【ハンズオン】 Pythonを使って作業の効率化を図ろう! 企画: 土田 雅代	【9:20開始】 避難2	解析手法1	【9:20開始】 地理空間データ	ポスター展示
	11:40-12:20								ポスターセッション コアタイム
	12:20-14:00	【企画セッション】 GeoAIで地理空間を超えるGIS 企画: 藤 綱林	【企画セッション】 移動2		【ハンズオン】 Insights for ArcGISでデータ分析 企画: 土田 雅代	【12:40開始】 歴史	解析手法2	【12:40開始】 システム	ポスター展示 (14:20 までに撤収)
	14:20-16:00	【企画セッション】 地図アーカイブの活用と社会実践 企画: 岩崎 亘典・瀬戸 寿一・阿原 雄之 閉会式 (優秀発表者の表彰を含む)			【ハンズオン】 SIM写真測量によるマッピング 企画: 内山 庄一郎	居住2	地域分類	データ取得・生成	
	16:10-16:30								

企画セッション

※企画セッションは、参加費無料、事前申込不要です

【2019年度初等中等教育における

GISを活用した授業に係る優良事例表彰】

オーガナイザー：貞広幸雄（教育委員会）

19日（土）10：20～12：00／会場A

2019年度に実施された、初等中等教育においてGISを活用した授業のうち、優良事例について表彰し、その内容を発表する。

【学生フリーテーマ発表会 2019】

オーガナイザー：相尚寿（若手分科会）

①19日（土）10：20～12：00／会場B

②20日（日）12：20～14：00／会場B

発表の分野、テーマは自由、ただし発表資格者は学生に限るという学生フリーテーマ発表会を今年も開催します。

通常の前頭発表セッションはテーマ別のパラレル制であるため、なかなか異分野の発表を聞く機会はありませんが、この発表会はテーマを限定せず、応募内容に関係なくランダムに発表順を決めています。

2セッションに分かれています。内容は同一ではなく、それぞれに異なる発表者が前頭発表しますので、両方へのご参加も大歓迎です。

優秀な発表した学生さんを表彰する制度も設けています。受賞者を決めるのは当日会場にお越しいただいた皆さんによる投票です。

各セッションの発表者はwebおよび論文集（CD-ROM）のプログラムをご参照ください。

【IAG' i Keynote speech】

19日（土）13：20～14：20／会場A

“Korean Peninsula DMZ and GIS”

Kim Chang-Hwan (KAGIS)

“A generalized conceptual framework for eco-environmental vulnerability assessment at different scales and timespans”

Yuei-An Liou (TEGO)

“Large-scale comparison of landforms in Japan, Korea and Taiwan using DEMs” OGUCHI, Takashi (GISA)

【第14回マイクロジオデータ研究会「国内外におけるマイクロジオデータを活用した自然災害への対応とその課題」】

オーガナイザー：秋山祐樹

19日（土）14：30～18：10／会場A

我々は2011年に「マイクロジオデータ研究会」を発足させ、マイクロジオデータ（MGD）の普及と利活用について産官学の有識者を中心に議論を行って来ました。MGDとは位置情報や時間情報を持つ時空間的に高精細な（例えば建物や人単位）データや統計の総称のことを言います。MGDは既存の

各種統計・空間データでは実現し得なかった、時空間的にきめ細やかな分析や計画支援等への利活用が期待されています。

近年、MGD研究会はMGDに関連した研究だけでなく、「実社会での活用」にフォーカスを当てた活動にシフトしつつあります。そこで第14回となります今回は、近年激甚化する自然災害、そして近い将来発生が懸念されている南海トラフ巨大地震等への対応に、マイクロジオデータを含む統計・地理空間情報を活用することで何がどこまで出来るのか、今後はどのようなことができるようになる可能性があるのか、そしてどのような課題があるのか、について国内外の事例を交えつつ議論を深めたいと考えています。

【クラウドソース型地理情報の可能性と課題】

オーガナイザー：西村雄一郎

19日（土）14：30～16：10／会場B

さまざまなクラウドソース型地理情報が既に公開され、さまざまな形で利用されている。それらが地理情報の収集・共有の新しい形を示している。一方でこのようなクラウドソース型地理情報の利用共有においては、プライバシー、データの品質の問題や虚偽情報の意図的な掲載などの問題もまた生じている。こうしたトピックにまつわるセッションを開催する。

【役立つビジネスGIS】

オーガナイザー：高阪宏行（ビジネス分科会）

19日（土）16：30～18：10／会場A

地理情報システム学会にビジネス分科会を立ち上げてから、すでに15年が過ぎた。そこで、ビジネスGISの現状と課題を議論するセッションを企画する。セッションでは、AIなどの技術進歩、8分の1地域メッシュデータなどの新たな詳細データの出現、GISを用いた小売店舗の商圈設定といった最近の話題を発表する。GISを利用することによって、何が進歩し、何が今後の課題なのかを考察する。

【パーソナルデータにつながる位置情報の取り扱いについて】

オーガナイザー：青木和人（自治体分科会）

20日（日）9：00～10：40／会場A

マイナンバーの普及に伴い、2016年に内閣総理大臣所轄の行政委員会である個人情報保護委員会が設立され、今、改めてパーソナルデータに関心が高まっています。

そこで、本セッションでは位置を特定する情報（住所・住居表示（フロンテージ）・番地・地番）について整理した上で、話題提供者から位置情報がパーソナルデータにつながる様々な事例を紹介いただきます。その後、参加者によるグループディスカッションを行い、位置情報がパーソナルデータにつながるケースについて、参加型で議論を深め検討します。

【GeoAI で地理空間を超える GIS】

オーガナイザー：巖網林 (IoT×GIS 分科会)

20 日 (日) 12:20~14:00/会場 A

IoT とビッグデータによって GIS はより速く、すばやく、正確へ向かいます。中でも GeoAI は中心的な役割を占めて、そこから従来の地理空間を超える GIS サービスが生まれる。本セッションは概念定義、標準化、エンジン開発、IoT との関係、社会インフラへの応用などの側面から GeoAI を報告し、同分野の現状、課題、今後の発展方向を検討します。

【地図アーカイブの利活用と社会実践】

オーガナイザー：岩崎亘典/瀬戸寿一/阿児雄之

20 日 (日) 14:20~16:00/会場 A

近年、大学、図書館、博物館、研究機関等の組織が所有する古地図、旧版地形図等の Web 上での公開が進み、その方式も多種多様である。また、そうして公開された古地図等を活用するためのサービス等も構築されつつある。

このような地図アーカイブが公開されることは重要であるが、加えてそれが実際に活用されることによりさらなる意義を持つことになる。本シンポジウムでは、こうした古地図アーカイブの構築、公開、活用を進めるために、どの様な取り組みや環境整備が必要なるかについて、広く検討したい。

ハンズオンセッション

※定員 ①②⑤ 20 名 / ③④12 名

※事前申込をお勧めします (参加費無料)

※いずれも H 会場です

※①②⑤の参加者は、ノート PC をお持ちください

① 【わかりやすい地図の作り方】

オーガナイザー：桐村喬 (教育委員会)

19 日 (土) 10:20~12:00

誰でも手軽に GIS を使えるようになり、様々な分野の研究論文で GIS で作った地図が使われています。また、論文だけでなく、日常生活の様々な場面でも GIS で作った地図を見る機会が増えていきます。GIS の操作手順を間違わなければ地図が作れますが、どんなふうに表現すれば地理情報を適切に表現できて、意図を正確に伝えることができるのか、といった技術や知識は、地図に関する専門的な教育を受けないとなかなか身に付けることはできません。

このセッションでは、GIS を使う上で陥りがちなよくある失敗に注目しながら、わかりやすく、適切な地図の作り方について紹介し、地図表現に関する基礎知識を身に付けることを目標にします。取り扱う内容は、地域・用途に応じた投影法の選び方や階級区分図での色・ハッチの使い方、カルトグラムの活用法などで、これらに留意しながら実際に GIS ソフトで地図を作っていきます。

※基本的な内容は 2018 年に実施したものと同一です。

※当日持参の PC には、ArcGIS (ArcMap) または QGIS をインストールしておいてください。

申込み先：<https://forms.gle/3sMUA4sb7LLcrvQ46>

問合せ先：t-kirimura@kogakkan-u.ac.jp

② 【QGIS 入門ハンズオン】

オーガナイザー：嘉山陽一

(FOSS4G 分科会/朝日航洋株式会社)

19 日 (土) 14:30~18:10

近年最も普及しているオープンソースデスクトップ GIS である QGIS の入門実習を行います。

パソコンは参加者に持参をお願いします。持参パソコンに QGIS をインストールしてきてもらい QGIS で空間データを操作するための基本的な手順を実習していただきます。また QGIS で空間データをあつかうときにうまくいかなかった点ややり方がわからなかった点があるような方はデータを用意していただければどのように操作をしたら解法が見つかるか一緒にためしてみることもできるようにします。

オープンソースソフトウェアの利用方法は多くの人が利用のための知見を共有することで利用できる部分が多くなります。今回のセッションを QGIS 利用のためのノウハウ共有ができる場所として使わせていただきたいと思います。

申込み先：<http://bit.ly/gisa2019qgis>

問合せ先：yoichi.kayama@gmail.com

③ 【Python を使って作業の効率化を図ろう！】

オーガナイザー：土田雅代 (ESRI ジャパン株式会社)

20 日 (日) 9:00~10:40

Python を利用することで、ArcGIS の GUI 上で行っている反復的な作業をプログラムで自動化することができます。これにより手間のかかる作業や繰り返しの作業の効率化を図ることができます。

Python を使用して ArcGIS でどんなことができるか知りたい方から、より進んだ ArcGIS 使いを目指す方まで、Python を使って独自のジオプロセッシングツールを作成してみませんか？

申込み・問合せ先：masayo_tsuchida@esrij.com

※定員 12 名。PC はご用意します。

④ 【Insights for ArcGIS でデータ分析】

オーガナイザー：土田雅代 (ESRI ジャパン株式会社)

20 日 (日) 12:20~14:00

データ分析が身近なものになってきているが、分析ツールに手こずったり、分析レポートが目的になっていませんか？簡単な操作で Excel より楽にグラフ表示やデータ分析が行えます。また、空間・非空間データの可視化・空間分析し、その試行プロセスを繰り返してデータが持つ特徴を最大限に導き出せます。Insights for ArcGIS を使ってデータ分析してみませんか？

申込み・問合せ先：masayo_tsuchida@esrij.com

※定員 12 名。PC はご用意します。

⑤ ハンズオン【SfM写真測量によるマッピング】

オーガナイザー：内山庄一郎（防災科学技術研究所）

20日（日）14:20～16:00

SfM (Structure from Motion) 写真測量とは複数の写真から被写体の形状を復元する技術です。特に、無人航空機（ドローン）による撮影と調和的です。SfM 写真測量により、オルソモザイク画像（写真地図）や DSM（数値表面モデル）を作成することができます。ハンズオンでは、技術の概要と使いこなすコツを解説し、写真の撮影からオルソモザイク画像の出力までの最も基礎的な一連の作業を行います。

申込み・問合せ先： uchiyama@bosai.go.jp

ポスターセッション

10月19日（土）

コアタイム 12:40～13:20

ポスター掲示時間 9:00～18:00

10月20日（日）

コアタイム 10:40～11:40

ポスター掲示時間 9:00～14:20

ポスターセッション賞投票締切

10月20日（日）12:20（昼休み終了時）

※投票方法は、事前参加登録した方、当日受付で参加費をお支払いいただいた方に、別途ご案内いたします。

※今年度よりポスターセッションの演題リストはWebに掲載することになりました。

第15回大会優秀発表賞

対象者は本学会の学生会員（年会費完納者）であり、修号未修得の、口頭発表発表者に限られます。研究（論文）内容や発表技術の優秀者からセッション司会者が受賞候補者を推薦し、学会賞委員会の議論を経て受賞者を決定します。受賞者数は特に定めません。

受賞者には賞状を後日送付し、ニューズレター112号に氏名と所属を公表します。また、『GIS-理論と応用』Vol. 27, No. 2に発表要旨を掲載（白黒印刷のみ）します。受賞者は11月15日（金）までにA4用紙1枚の原稿提出にご協力下さい。

第8回ポスターセッション賞

ポスターセッション参加者全員が審査の対象です。投票方法については、事前登録者または当日参加登録なさった方に、別途ご案内いたします。

受賞者には賞状を後日送付し、ニューズレター112号に氏名と所属を公表します。また、『GIS-理論と応用』Vol. 27, No. 2に発表要旨を掲載（白黒印刷のみ）します。受賞者は11月15日（金）までにA4用紙1枚の原稿提出にご協力下さい。

機器展示（受付順）

■株式会社古今書院

展示：『スマホとPCで見るはじめてのGIS』ほかGIS関連書籍

概要：GIS書籍の発行点数ナンバー1の出版社です。『地理情報科学 GISスタンダード』などGISの基本図書、「ArcGIS」「QGIS」「MANDARA」など人気のGISソフトの活用マニュアルなど、GISビギナーからミドルユーザまで利用目的に応じた関連書籍を展示し、すべて15%引で販売します。出版企画のご相談も大歓迎です。

■ESRI ジャパン株式会社

展示：ArcGIS Pro / ArcGIS Online / Apps/データコンテンツ/python

概要：様々な分野に利用できるArcGISソリューションを紹介

一例として、

- ・さらに使いやすく、パワーアップしたArcGIS Pro2.3の機能紹介
- ・マップの作成・共有・利用を、いつでもどこでも行える環境を提供するArcGIS Onlineの活用法
- ・現地調査やアンケート調査などにも使えるArcGIS Online Apps
- ・ArcGISで活用できるさまざまなジャンルのデータの紹介
- ・Python スクリプトから地理的データの解析、変換、管理などを実行できる便利な関数のArcPyの紹介

普段のArcGIS製品の利用でお困りな点やご相談も受け付けております。お気軽にお立ち寄りください。お待ちしております！

■FOSS4G分科会、朝日航洋株式会社（共同出展）

展示：QGIS等のオープンソース地理空間ソフトウェアと関連サービス

概要：近年、急速に普及しているオープンソースソフトウェアの地理情報システムQGISをはじめとするFree Open Source Software for Geospatial (FOSS4G)製品と関連サービス等をご紹介します。FOSS4G製品の使い方がよくわからない方、あるいは、こんなことができないかなどのお悩みがありましたら、お聞かせください。また、FOSS4G製品について情報交換したい方、一言いいたい方もぜひお立ち寄りください。

受賞報告

小口会長が台湾地球観測学会から表彰されました



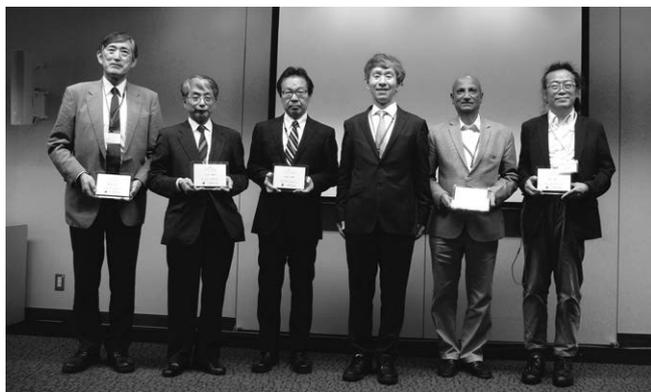
6月23～26日に台湾・台南市の国立成功大学で開催された地球観測及社会衝撃国際検討会（ICEO&SI2019）において、小口高会長が検討会の主催者である台湾地球観測学会（T GEO）から国際功労賞を授与され、盾と感謝状を受け取りました（写真右が盾）。感謝状には受賞の理由の一つとして、T GEOと地理情報システム学会の友好を強固にしたことが記されています。ICEO&SI2019では、基調講演の一つを山本佳世子事務局長が担当いたしました。

GIS 資格認定協会からののお知らせ

GIS 資格認定協会 大伴真吾

7月17日（水）、GIS 名誉上級技術者称号贈呈式を国際地理学会会議（ICC2019）会場内で執り行い、国内外の ICC2019 参加者にも列席いただき、次の5名の方に小口会長より証書をお渡しいたしました。

若林 芳樹 氏（日本地理学会推薦）
熊木 洋太 氏（日本地図学会推薦）
ベンカテッシュ ラガワン 氏（OSGeo 財団日本支部推薦）
嘉山 陽一 氏（OSGeo 財団日本支部推薦）
玉川 英則 氏（地理情報システム学会推薦）



GIS 名誉上級技術者と小口会長

8月時点の認定者数は以下の通りです。

GIS 名誉上級技術者 28名
GIS 上級技術者 151名
GIS 教育認定プログラム 21件

学会後援行事等のお知らせ

■ G 空間 EXPO 2019

主催：G 空間 EXPO 運営協議会（GIS 学会も一翼を担っています）

会期：2019年11月28日（木）～30日（土）

会場：日本科学未来館

詳しくは… <http://www.g-expo.jp/>

GIS 学会/日本地図学会共催シンポジウム

「『地理総合』に向けた GIS 活用の手引き」

地理総合が必修科目になるにあたり、指導のための最初の一步を提示し、実際に GIS を利用した地理に触れてみる。

日時：11月30日（土）14:00～17:00 受付 13:30～

定員：30名（事前登録制/資料代1,000円）

場所：日本科学未来館7階 コンファレンスルーム天王星

■ GIS コミュニティフォーラム in 中部・関西・九州（後援）

主催：ESRI ジャパンユーザ会

日時と会場：

2019年10月10日（木）JPタワー名古屋（中部）

2019年10月18日（金）梅田スカイビル（関西）

2019年10月31日（木）アクロス福岡（九州）

詳しくは…

<https://www.esri.com/events/gcf/gcf2019-autumn/>

■ FOSS4G 2019 KOBE, KANSAI（後援）

主催：OSGeo 日本支部

日時：2019年10月13日（日）～14日（月・祝）

会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸（Kiito）

詳しくは…

<https://www.osgeo.jp/events/foss4g-2019/foss4g-2019-kobe-kansai>

■ GIS day in 東京 2019（後援）

主催：首都大学東京 都市環境学部

日時：2019年12月21日（土）

会場：首都大学東京南大沢キャンパス

詳しくは… <http://www.comp.tmu.ac.jp/gisday/>

※GIS 技術教育認定を受けています。

受講者には「受講証明書」を発行いたします。

学会からののお知らせ（代議員公募）

■次期一般社団法人地理情報システム学会代議員公募のお知らせ

選挙管理人 寺木 彰浩

今期代議員が本年12月31日に任期満了を迎えることに伴い、定款第17条による次期代議員の公募を下記の通り実施します。

残念ながら、これまでの本学会は会員中の割合に比べて代議員に若手や女性が少ない傾向にあります。多様な立場・視野からの意見の反映が学会活動のさらなる活性化に繋がります。是非とも積極的な立候補をお願いします。

記

1. 代議員の定員（定款第16条）：30名以上50名以下
代議員選挙管理規程に基づき、候補者数に従って以下のように対応します。
 - 30名に満たない場合（規程第4条の3）：追加募集
 - 30名以上50名以下の場合（規程第5条）：信任投票
 - 50名を越える場合（規程第6条）：投票
2. 代議員の資格（定款第17条の3）：正会員
3. 次期代議員の任期（定款第19条）：2020年1月1日～2021年12月31日
4. 代議員の主な役割：
 - （定款18条）社員総会に出席し審議事項を審議し議決する。
 - （定款24条）理事及び監事に選任される資格を持つ。これらに合わせ、委員会や学術大会での活躍が期待されます。
5. 受付期間：2019年10月10日～10月31日正午
6. 立候補の方法：表題を「代議員立候補」とし、立候補者について下の①～⑥を記載したE-mailを事務局にお送りください。

①氏名 ②所属 ③会員番号 ④連絡先（E-mailアドレス）⑤当学会での活動歴（役職等）又は抱負（200文字以内）⑥推薦人（正会員1名）の氏名と所属

学会からののお知らせ

■事務局休室のお知らせ

学術大会開催に伴い、以下の期間、事務局は休室となります。メール対応も出来ませんのでご注意ください。

2019年10月17日（木）～22日（火・祝）

通常の業務は10月23日（水）午前10時からです。

■メールニュース受信についてのお願い

BCCまたは配信先が多数のメールを受信できない設定の企業等団体の方で、学会メールニュースをお読みにになりたい方は、個人のメールアドレスを事務局までお知らせください。また、アドレスが変更になった場合は、変更届の提出をお願いいたします。

<https://www.gisa-japan.org/member/login.php>

■メールニュースへの掲載ご希望の方へ

学会では個人会員を対象に、メールニュースを配信しています。

内容は学会からののお知らせ、関連イベント、公募情報が主ですが、こちらに掲載をご希望の方は、以下の「お送りいただく情報」をご参照の上、事務局までお申し込み下さい。

（ホームページ上でもご案内しております。）

<http://www.gisa-japan.org/news/request.html?id=02>)

なお、ニュースの配信は、毎月第2・第4金曜日を目安にしています。

<お送りいただく情報>

イベントの場合

- ・イベント名
- ・URL
- ・日時（年は西暦/時間は24時間表記）
- ・会場名
- ・主催

お知らせの場合

- ・タイトル
- ・URL
- ・内容は200文字程度

公募の場合

公募情報の依頼が出来るのは、賛助会員と教育関係の方だけです。

- ・タイトル
- ・概要、分野
- ・機関名
- ・所属
- ・職名
- ・URL（詳細情報）

■会議の場所をご提供します

分科会（SIG）、委員会、支部など、学会活動に関することで会議をしたいが場所が無い…という方は、事務局までお申し出ください。事務局が入居している学会センタービルの地下に、貸会議室があります。予約制ですので、お早目にお問い合わせください。

料金：無料

時間：月曜日から金曜日の10：00～17：00

注意：インターネットのご利用は出来ません

2019年8月末現在の個人会員 1065名、 賛助会員 53社

賛助会員

アクリーグ(株)、朝日航洋(株)、アジア航測(株)、アドソル日進(株)、いであ(株)、(株)インフォマティクス、ESRI ジャパン(株)、NTTタウンページ(株)、愛媛県土地家屋調査士会、応用技術(株)、大阪土地家屋調査士会、(株)かんこう、関東甲信越東海GIS技術研究会、(財)岐阜県建設研究センター、九州GIS技術研究会、近畿北陸G空間情報技術研究会、(株)こうそく、国際航業(株)、国土情報開発(株)、(株)古今書院、GIS総合研究所いばらき、ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)、(株)ジオテクノ関西、(株)昭文社、(株)ゼンリン、(株)ゼンリンジオインテリジェンス、(株)谷澤総合鑑定所、玉野総合コンサルタンツ(株)、中四国GIS技術研究会、デジタル北海道研究会、東北GIS技術研究会、(株)ドーン、長野県GIS協会、にいがたGIS協議会、日本情報経済社会推進協会、日本スーパーマップ(株)、(財)日本測量調査技術協会、(財)日本地図センター、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)パスコ、阪神高速技研(株)、東日本総合計画(株)、北海道GIS技術研究会、(株)マップクエスト、(株)松本コンサルタンツ、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)、(財)リモート・センシング技術センター
自治体会員：経済産業省特許庁、総務省統計局統計研修所、(独)統計センター、長野県環境保全研究所、福岡県直方市

学会分科会連絡先一覧

- 自治体：小泉和久（千葉県浦安市）
事務局：青木和人（あおきgis研究所）
Tel：050-5850-3290
E-mail：kazu013057@gmail.com
- ビジネス：高阪宏行（地理情報技術研究所）
Tel：03-5379-5601
E-mail：kohsaka@npo-giti.com
- 防災GIS：畑山満則（京都大学防災研究所）
Tel：0774-38-4333
E-mail：hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp
- 時空間GIS：吉川耕司（大阪産業大学）
Tel：072-875-3001
E-mail：yoshikaw@due.osaka-sandai.ac.jp
- 地図・空間表現：若林芳樹（首都大学東京）
Tel：042-677-2601
E-mail：wakaba@tmu.ac.jp
- FOSS4G：Venkatesh Raghavan（大阪市立大学）
連絡先：嘉山陽一（朝日航洋(株)）
Tel：049-244-4032
E-mail：youichi-kayama@aeroasahi.co.jp
- 若手分科会：相尚寿（東京大学）
Tel：04-7136-4302
E-mail：hisai@cisis.u-tokyo.ac.jp
- IoTとGIS：巖網林（慶應義塾大学）
Tel：0466-49-3453
E-mail：yan@sfc.keio.ac.jp

地方支部の連絡先一覧

- <北海道支部>
支部長：株式会社ドーコン 三好達也
連絡先：NPO法人Digital北海道研究会（内）
Tel：011-299-8104, E-mail：gisahokkaido@dghok.com
- <東北支部>
支部長：東北大学 井上亮
Tel：022-795-7478, E-mail：rinoue@tohoku.ac.jp
- <中部支部>
支部長：中部大学 福井弘道
連絡先：杉田暁（中部大学）
Tel：0568-51-9894（内線 5714）
E-mail：satoru@isc.chubu.ac.jp
- <関西支部>
支部長：大阪工業大学 吉川眞
連絡先：田中一成（大阪工業大学）
Tel：06-6954-4293, E-mail：gisa@civil.oit.ac.jp
- <中国支部>
支部長：広島修道大学 川瀬正樹
Tel：082-830-1210, E-mail：kawase@shudo-u.ac.jp
- <四国支部>
支部長：愛媛大学 Netra Prakash Bhandary
Tel：089-927-8566, E-mail：netra@ehime-u.ac.jp
- <九州支部>
支部長：九州大学 三谷泰浩
Tel：092-802-3399, E-mail：gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp
- <沖縄支部>
支部長：琉球大学 町田宗博
E-mail：machida@ll.u-ryukyu.ac.jp
連絡先：澤岬 直彦（NPO法人沖縄地理情報システム協議会）
Tel：098-863-7528, E-mail：takushi@nansei-m.co.jp

■ 編集後記 ■

・ニューズレターの編集を初めて担当しました。印刷の都合上、ページ総数を偶数にする必要があるのですが、これまでの形式を踏襲しますと、どうしても奇数になってしまいます。苦肉の策として日程表を1ページにして納めたのですが、日程表が読みにくいとすれば、そんな訳でありまして、ご容赦頂きたく思います。

・大会の開催される徳島には初めて足を踏み入れます。これまでこの地を訪ねる機会があまりなく、時間があれば、大学の外にも足を向けて、街中を練り歩く阿波踊りで有名な街を観察してみたいところです。

（中谷友樹）

地理情報システム学会ニューズレター

第111号 ●発行日 2019年9月30日

■発行

一般社団法人 地理情報システム学会
〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル4階
TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org
URL: http://www.gisa-japan.org/

■ 弥生雑記 ■

初めての四国！ 大会会場校である徳島大学へ下見に伺ったのが金曜日ということもあり、一泊して翌日は観光をすることにしました。四国と言えば弘法大師（当時、京の内どころか近畿圏以外に生まれてあの出世は、想像を絶する天才だったことが分かります）。八十八箇所巡りの一番札所（霊山寺）は徳島にある、と勢い込んで参じたものの、白装束のお遍路さんの団体の前に小さくなって場所を譲り、でも1kmほど離れた場所に阿波一の宮（大麻比古神社）があることに気づいてこちらもお参り。何となく「1番」を制覇した気になり、徳島城址や博物館も堪能しました。

また、徳島は美味しいものの宝庫でもありました。普段はあまり土産物を買わないのですが、帰京のために空港に到着したときは既に両手に大荷物。にもかかわらず空港でも重量のあるものを中心に買いまくり、機上の人になったところに「配送という方法があった」と気づく始末でした。

今年の10月22日は祝日です。事情が許す方は、大会の後も、どうぞ徳島を楽しんでください。

（学会事務局）